## メーラー「Thunderbird」の設定

大野仁嗣(2007/05/30)

メールを読み書きするためのソフト(メールクライアントとかメーラーと呼びます)を設定していきま しょう。今回は冊子「教育用情報ネットワーク」を使って学科が管理しているメールアカウントを読 み書きする設定をしていきます。対応するページもあわせて参照しながら進めましょう。



その前に、簡単にメールの仕組みを説明します。

図 1 メールの仕組み

図1はメールの仕組みを簡単に説明したものです。大野くんが小田さんにメールを送るとします。

①大野くんは「大野くんの送信メールサーバ」に小田さん宛てのメールを送信します。

②受け取った送信サーバはあて先の「小田さん受信メールサーバ」にメールを送ります。メールを 受信したサーバは利用者が問い合わせるまでメールを保管します。

③小田さんは「小田さんの受信メールサーバ」にメールがないか問い合わせを出し、メールがある 場合はダウンロードして読みます。

わかりましたか?イメージとしては葉書を郵便で送る感じに近いですね。

(①ポストに出し、②郵便屋さんが運んで郵便受けに投函、③郵便受けを見に行って取って読む)

では、実際に使えるように設定しましょう。

- 1. 「Thunderbird」を起動します。(P16 上)
- 2. アカウントの種類を選択する画面では「メールアカウント」を選択します。(P16下)
- 3. 差出人情報の設定では、次のとおりに設定します。(P17上)
- あなたの名前: ローマ字で名前を書きます。
- ・ メールアドレス: b07xx@svr01.damp.tottori-u.ac.jp

(xxには数字が入ります。たとえば学籍番号が B07T8013 の人は b0713 になります。以下同様。)

- 4. サーバ情報の設定画面では次のとおりに設定します。(P17下)
- ・ サーバの種類: POP
- メール受信サーバ: svr01.damp.tottori-u.ac.jp
- メール送信サーバ: svr01.damp.tottori-u.ac.jp

内容は同じですが、確認もかねて手入力しましょう。冊子と同じ内容ではないので注意です。

- 5. ユーザ ID の設定画面では次のとおりに設定します。(P18 上)
- ・ 受信ユーザ ID: b07xx
- ・ 送信ユーザ ID: b07xx
- アカウント名の設定画面では、今設定しているコンピュータを管理するのにわかりやすい名称 を設定します。基本的に自由ですので、そのままで OK です。
   「次へ」を押します。(P18 下)
- 設定完了の画面が出ますので、確認しましょう。いままで設定して画面に表示されている内容と、この紙に書かれている情報に相違はありませんか?違うとメールは読めません。
   P19の内容とは違いますので、注意しましょう。あっていることを確認して、「完了」を押します。

ただし、ここではメールは受信しません。 パスワードを尋ねてきたら「キャンセル」を押して、受信作業を回避してください。

- 8. 次に、「ツール」メニュー内「アカウント設定」をクリックします。(P19下)
- 9. 先ほど「アカウント名」で設定したアカウント名が表示されていると思います。その中の「サー **バ設定**」をクリックし、つぎの内容に変更します。(P20下)

セキュリティ設定:「可能ならTLSを使用する」を選択、「保護された認証を使用する」にチェックを入れてください。(図2参照)

アカウント設定	
-サー/設定 -コピーと特別はフォルダ 編集とアドレス入力 -ディスク領域	サーパ設定       サーパの種類: POP メールサーバ       サーパ名(S): svr01.damp.tottori-ua ポート(P): 110 既定値: 110
- 開封確認 - セキュリティ - 学科 60313) - サーバ設定 - コピーと特別なフォルタ	ユーザ名(仏): b0313 セキュリティ設定 (保護された接続 (SSL, TLS) を使用する: ○ (使用しない(仏) ○ 可能なら TLS を使用する(仏) ○ TLS を使用する(①) ○ SSL を使用する(仏)
-編集とアドレス入力 -ディスク領域 -迷惑メール -開封確認 -セキュリティ	サーバ設定     「新者メッセージがないか起動時に確認する(C)」     「新者メッセージがないか(C) 10 分ごとに確認する
ーサーバ設定 ーサーバ設定 編集とアドレス入力 -ディスク領域 -迷惑メール	<ul> <li>▼ 新着メッセージを自動的にダウンロードする(M)</li> <li>ヘッダのみ取得する(E)</li> <li>■ ダウンロード後もサーバにメッセージを残す(G)</li> <li>■ ダウンロードしてから(Q)</li> <li>▼ 日以上経過したメッセージは削除する</li> </ul>
<ul> <li>         冊封確認         <ul> <li>                 セキュリティ         </li> <li>                 ローカルフォルダ                  ディスク領域</li></ul></li></ul>	「 ダウンロードしたメッセージを削除したらサーバからも削除する(D) 「 終了時にごみ箱を空にする☆ メッセージの保存先(L): C*Documents and Settings¥ono¥Application Data¥Thunderbird¥Profiles¥710h5j50.default¥Mail¥svr01 参照(B)
送信 (SMTP)サーバ アカウントを追加(A)… 既定のアカウントに設定(F)	
マンティー	OK キャンセル

## 図 2:サーバ設定

10. 「**編集とアドレス入力**」をクリックして、「HTML 形式でメッセージを編集する」のチェッ クをはずします。(P21下) 11. さらに、「送信(SMTP)サーバ」の項目にうつります。この作業が終わるとメールが送れ るようになります。

まず、「svr01.damp・・・」が選択されているのを確認してから「編集」ボタンを押します。(図3)

アカウ	ント設定	
Г	サーバ設定	送信(SMTP)サーバの設定
	ーコピーと特別なフォルタ -編集とアドレス入力	
	-ディスク領域	
	迷惑メール	svr01.damp.tottori-u.ac.jp (既定)追加(D)
	「押」を10年まで	編集(E)
	学科(60313)	肖·IF余 ( <u>M</u> )
	サーバ設定	既完(值(語完(1))
	- コピーと特別なフォルダ	MALECERAL Y
	「編集とアトレスへノ」	
	-迷惑メール	サーバ名: swr01.damp.tottori-u.ac.jp
	開封確認	ユーザ名: 〈指定なし〉
	セキュリティ	保護された接続: TLS (使える場合)
	nips@pitnitri.jp 	
	ーコピーと特別なフォルダ	
	編集とアドレス入力	
	ディスク領域	
	一述感メール	
	ローカルフォルダ	
	ディスク領域	
6	○···迷惑マール 送(音 (SMTP) サーバ	
Ц		
	アカウントを追加(A)	
	既定のアカウントに設定(E)	
	アカウントを削除( <u>R</u> )	
		OK ##>/12/1

図 3:受信サーバ設定

「セキュリティと認証」項目で、

・「**ユーザ名とパスワードを使用する**」のチェックをはずします。

・「保護された接続を使用する」で「TLS(利用可能な場合)」

を選択します。(図4)

終わりましたら、OK を押します。

アナ	ウント設定		×
[		送信 (SMTP) サーパの設定	
	コピーと特別なフォルタ 編集とアドレス入力 ディスク領域	- アカウントを複数お持ちの場合でも、設定が必要な送信(SMTP)サーバは 1 つだけです。メッセージ送信に使用するサーバ 力してください。	名を入
	迷惑メール 開封確認	svr01.damp.tottori-u.ac.jp kjaro.damp.tottori-u.ac.jp (既定) 全国性化	<u>))</u>
		Gmail - smtp.gmail.com	<u></u>
	□字科(60313)	SMTP サーバ × 削除(	M)
	ーコピーと特別なフォルダ	設定	錠(T)
	→編集とアドレス人力 ディスク領域	[说明( <u>D</u> ):	
	迷惑メール	サーバ名(S): svr01.damp.tottori-u.ac.jp	
	一開封確認	ポート番号(P): 25 既定値: 25	
	ーセキュリティ		
	Hitoshi@portnet.ne.jp		
	ーリー/ 信み走 		
	編集とアドレス入力		
	・ディスク領域		
	- 迷惑メール	保護された接続を使用する:	
	開封確認	○ ()()え(N) ○ TLS (利用可能な場合)(A) ○ TLS(T) ○ SSL(L)	
	ーセキュリティ		
	🖃 ローカルフォルダ	OK +++>+24	
	ディスク領域		
	一迷惑メール		
	送信 (SMTP) サーバ 🚽		
ĺ	 アカウントを追加( <u>A</u> )		
	既定のアカウントに設定(E)		
	アカウントを削除(R)		
		OK	ノセル

図 4:SMTPの詳細設定

以上で基本的な設定は終わりです。

12. 最終確認です。まずはメールを受信してみましょう。

受信を押してみると、パスワードの入力画面が出てきますから、入力してください。

パスワード	を入力してください。		
?	svr01.damp.tottori=u.ac.jp サーバの 60313 ユーザのパスワードを入力してくださ		
	🔲 パスワードマネージャでこのパスワードを保存する。		
	OK キャンセル		

## 図 5 パスワード入力画面

£

パスワードの管理は自分でしましょう。パソコンに完全に教え込ますのは危険です。 他人にパスワードが知れた場合、自分宛のメールが読まれるだけでなく、なりすましてメールを送 信されてしまいます。銀行の暗証番号と同様、人に知られないよう管理して下さい。 「パスワードマネージャでこのパスワードを保存する」にはチェックを入れないようにしてください。

もし、何かメールがきていれば、ここで受信されます。無い場合は何も起きません。

次は送信のテストです。

作成を押して、新規にメールを作成します。

🚔 作成: (件名なし)	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) オブション(P) ツール(T) ヘルプ(H)	() ()
差出人(B): 大野 仁嗣 <b0313@damp.tottori-u.ac.jp> - 学科(60313)</b0313@damp.tottori-u.ac.jp>	-
<u></u>	
件名(S):	

ボタンを押したら、作成画面が出ます。

まず、送信先のアドレスを入力しましょう。あて先の横に隣の人のアドレスを入力してください。 さらに次の行には自分のアドレスを入力します。そして、「宛先」のところをクリックして「Cc:」にし ます。

合作成:(件名なし)	- D ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) オブション(P) ツール(T) ヘルプ(H)	
<ul> <li>abc</li> <li>道</li> <li>アドレス スペル</li> <li>添付</li> <li>セキュリティ</li> <li>保存</li> </ul>	
差出人( <u>R</u> ): 大野 仁嗣 <b0313@damp.tottori-u.ac.jp> - 学科(b0313)</b0313@damp.tottori-u.ac.jp>	•
宛先: ■ b07xx@svr01.damp.tottori-u.ac.jp     ● b07zz@svr01.damp.tottori-u.ac.jp     宛先:     Cc:     Bcc:     Reply-To:     ニュースグループ:     Followup-To:     ■	

さて、一覧にあるものの簡単な説明です。基本的に使うのは3種類です。

「宛先(To:)」・・・あて先。基本的にこれを使います。複数の人に送る場合は先頭の人に使います。 「Cc:」・・・Carbon Copy の略です。同じ内容のメールを複数の人に送るときに使います。

「Bcc:」・・・Blind Carbon Copyの略です。Cc:と機能的には同じですが、同時送信した人のアドレスはわからないように伏せて複製します。

プライバシーにうるさい昨今、送る相手によって、上記を上手に使い分けましょう。

さて、件名に「試験送信」と入力します。件名のないメールはマナー違反です。(詳しくは E メールのマナー参照)

さて、肝心の内容ですが、今回はテストです。内容は自由とします。 完成したら、



を押して、送信してください。

そして、もう一度「受信」を押すと、メールが来ているはずです。

マナーを守って、フルに活用してください。

図の引用

図1. 情報機器と情報社会のしくみ素材集(http://kyoiku-gakka.u-sacred-heart.ac.jp/jyouhou-kiki/index.html)